

令和5年1月教育委員会定例会会議録

1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 令和5年1月31日(火)午後1時30分
- (2) 場 所 松田町役場4階 4A会議室
- (3) 開会時間 午後1時30分
- (4) 閉会時間 午後2時50分

2 出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席委員 浄泉和幸教育長、石川純一教育長職務代理者、宮田恭子委員、橋本整和委員、山岸香穂里委員
- (2) 欠席委員 なし

3 傍聴人

なし

4 委員及び傍聴人を除き会議場に出席した者の氏名

遠藤洋一課長、堀谷恵子課長補佐、加藤久美子学校教育係長、小野敏紀施設管理係長、土屋盾二指導主事

5 会議録の確認

(1) 12月教育委員会定例会会議録の承認

浄泉教育長： 会議録を承認することによろしいか。

委 員： 全員了承

6 教育長の報告事項の要旨

浄泉教育長：「教育長の行政報告」の資料に基づき説明

遠藤課長：「教育委員会予定表」の資料に基づき説明

7 議題及び議事の要旨

なし

8 その他事項

(1) 松田小学校校舎建設事業について

小野係長： 松田小学校校舎建設事業は、2月28日の引き渡しに向けて順調に進んでいる。現在、工事はほぼ完了しており、検査を残すのみとなっている。

松田中学校大規模改修工事は、昨日議会で予算が議決され、これから発注等を進めていく。今回の工事の内容は、エレベーター設置、エアコン設置、外装工事等である。令和6年度には、木質化等の内装工事を予定している。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(1)については、よろしいか。

委 員： 全員了承

(2) 寄地区の幼稚園・学校教育について

遠藤課長：「寄地区の幼稚園・学校教育について」の資料に基づき説明

前回の検討委員会が出された意見を踏まえ、提言書(案)の文言の整

理を行った。今回は、18 ページの提言の表記について、ご意見をいただきたい。事務局の案としては、ただし書きを残す方向で考えている。

また、今後の教育委員会の取組として、寄地区を対象とした「小規模特認校」について、検討委員会の中で説明していくかどうかを検討したい。

浄泉教育長： A案を提言書のとおり、B案を検討委員会でご意見のあったとおりで、ただし書きを削除したものとし、検討委員会で選択する。

どちらにせよ、方向性は「存続させる」である。

山岸委員： 保護者から、自分たちの意見を聞いてもらえる、という意見があった。A案も残し、検討委員会の中で決める方がよい。

橋本委員： 2つの案を示し、検討委員会の中で意見が出やすいように進めていく。

宮田委員： 子どもたちのことを考えて、周りの大人が少人数で限界と感じた時に、いつでも検討できるような体制をつくっておく。

石川教育長職務代理者： 特に意見を出している委員さんは、地域からの要望はない、という考えを持っている一方で、保護者からは自分たちの意見を聞いてほしい、という意見があった。事務局案を残しておくべきではないか。

山岸委員： ただし書きの2番がなぜいけないのか、理由が分かりにくかった。

宮田委員： 「地域からの要望」という点が問題なのではないか。

検討の可能性を否定したいのではないか。

橋本委員： 「今後も存続させる」は、現時点の話であるが、永久的と受け取る方もいる。

浄泉教育長： ただし書きは、番号を振らずに一文で表現する。地域の皆で考えてほしい、という点を伝えていく。

「小規模特認校」についてはどう扱うか。

遠藤課長： 「小規模特認校」について、検討委員会で投げかける必要がある。提言書の中に、箇条書きで入れ込み、検討してもらう。

浄泉教育長： 他に意見がなければ、その他事項(2)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(3) 令和4年度教育委員会点検・評価報告書(案)について

加藤係長： 「令和4年度教育委員会点検・評価報告書(案)について」の資料に基づき説明

今回は、前回提出した「自己点検・評価表」に加え、教育委員会点検・評価の方針から教育委員会の活動までの部分を提出させていただく。さらに、外部評価をいただき、完成したものを2月教育委員会定例会に提出する予定である。

橋本委員： 「教職員の研修に関すること」は、予定通り実施できた、という説明になっているので、「A」の評価でよいのではないか。また、「確かな学力」の項目は「B」の評価が適切ではないか。

土屋指導主事： 教職員が研修を受け、前向きな姿勢を感じられるので、「A」の評価でよいと考える。

浄泉教育長： ここで大事なのは、研修の内容をどう実践に取り入れているかである。
生かしきれていないのであれば、「A」の評価は厳しい。

学力の方は、「B」の評価にし、「更に高める」等の文言を追加する。

山岸委員： 「不登校対策」は、適応指導教室などで適切に対応しているため、「A」
でよいのではないか。

宮田委員： 「学校に行く」が「A」ではない。学校ではなくても、子どもが学習
できる環境をつくるのが大事ではないか。

土屋指導主事： 現在不登校児童生徒の数は横ばいであるが、外に出ることができなかつ
た子どもが適応指導教室に通室できるようになった、という例もある。
しかし、まだまだ教育委員会としてできることがあるのではないか、と
いう考えもあり、「B」の評価としている。

浄泉教育長： 他に意見がなければ、その他事項(3)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(4) 令和5年度町立幼稚園学級編制について

加藤係長： 「令和5年度町立幼稚園学級編制について」の資料に基づき説明

令和5年4月に町立幼稚園入園予定の園児数と、年度当初のクラス編
成予定について記載している。来年度の新入園児は、松田幼稚園21名、
寄幼稚園1名と、例年に比べかなり少なくなっている。そのため、幼稚園
設置基準第三条の規定により、来年度の松田幼稚園年少児のクラス編
成は、1学級の予定である。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(4)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(5) 松田町教育大綱の改正(案)について

加藤係長： 「松田町教育大綱の改正(案)について」の資料に基づき説明

来年度からの「松田町第6次総合計画」後期まちづくりアクションプ
ログラムのスタートに合わせ、現在の教育大綱を見直す。

「令和の日本型教育」の内容を盛り込み「主体的・対話的で深い学び」
を実現できる教育を目指す。

具体的には、ICT環境の活用、インクルーシブ教育の推進、コミュニ
ティ・スクールの導入などを取り入れている。

内容については、この後の総合教育会議で協議する予定である。

浄泉教育長： 特に意見がなければ、その他事項(5)については、よろしいか。

委員： 全員了承

(6) 令和4年度卒業証書授与式・修了証書授与式及び令和5年度入学式・入園式日程につ
いて

加藤係長： 「令和4年度卒業証書授与式・修了証書授与式及び令和5年度入学式・
入園式日程について」の資料に基づき説明

令和4年度卒業証書授与式・修了証書授与式及び令和5年度入学式・
入園式の日程は資料のとおりである。

浄泉教育長：特に意見がなければ、その他事項(6)については、よろしいか。

委員：全員了承

(7) 生涯学習係イベントについて

遠藤課長：「MATSUDA DANCE フェスティバル」「SDGs学習会 環境について考えてみよう」「令和5年度 寺子屋まつだ中学生募集」「令和5年度 寺子屋まつだ参加者募集」の資料に基づき説明

ダンスフェスティバルは今年度初めて開催するイベントである。出演料の最低料金を5,000円から3,000円に変更している。

また、令和5年度「寺子屋まつだ」の小学生・中学生向け募集チラシをそれぞれ作成した。

浄泉教育長：特に意見がなければ、その他事項(7)については、よろしいか。

委員：全員了承

(8) 令和5年1月1日現在の児童・生徒・園児数等について

加藤係長：「令和5年1月1日現在の児童・生徒・園児数等について」の資料に基づき説明

児童数・生徒数・園児数については、前月から変更はない。

浄泉教育長：意見がなければ、その他事項(8)については、確認を行ったということによろしいか。

委員：全員了承

9 議事となった発議、討論等の内容及び発議者の氏名 なし

10 議決事項
なし

11 その他委員又は会議において必要と認めた事項

(1) 今回の会議録署名人の指名

橋本委員、山岸委員

(2) 今後の会議の予定

定例会 令和5年2月28日(火) 午後1時30分 松田町役場4階4A会議室

令和5年2月28日

会議録署名人

委員 橋本整和

委員 山岸香穂里

会議録調整事務局職員

教育課学校教育係長 加藤 久美子